

適温水補給ユニット温泉対応型 LSW-2-CV用

取付け並びに取扱い説明書

●取付け前に必ずこの説明書をお読み下さい。

① はじめに

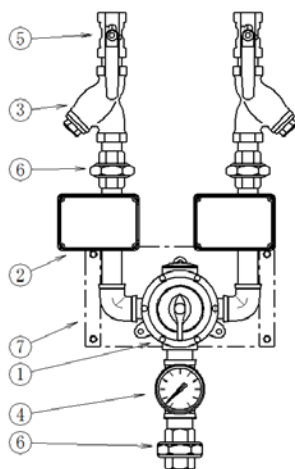
適温補給水ユニットとは、湯と水を混合して電動弁の開閉で浴槽へ適温水を補給するユニットです。

安全に永くご使用いただく為にこの取扱い説明書を読んで正しくご使用ください。

③ 仕様

- 最高使用圧力・・・0.4MPa
- 最低使用圧力・・・0.02MPa
- 最大差圧比・・・3:1
(給湯、給水どちらが3でも可)

② 各部名称



⑦	取付けブラケット(オプション)
⑥	ユニオン
⑤	ボール弁
④	温度計
③	ストレーナー
②	電動二方弁
①	ミッシングバルブ RADA 4M-SPA
符号	名称

⚠ 注意事項

- ユニットからの混合水は、極力抵抗を少なくして浴槽に吐出してください。配管は細くしないでください。
- シャワーやカンの元制御としてのご使用は出来ません。また、複数の電動弁を付けた分岐、及び手動弁を付けないでください。
- ステンレスが腐食されるような温泉水及びスケールが激しくたい積する泉質にはご使用できません。
※少量のたい積でも定期的なメンテナンスは不可欠です。
- 水道水本管と直結して使用することはできません。

④ 取付け

- 1) 調整や点検が容易にできる位置に取付け下さい。

経年時や破損等による漏水発生に備えて、漏水事故で損害発生が予測される場所への設置はお避け下さい。

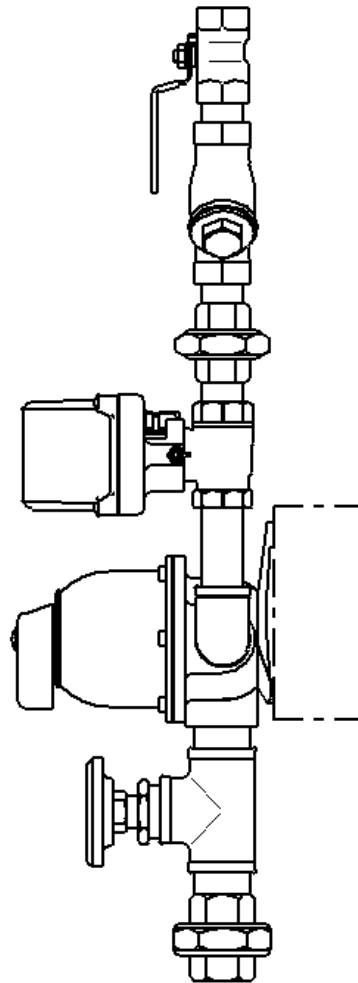
- 2) 給湯入口と冷水入口を確認して下さい。標準は向かって左が給湯、右が給水です。給湯・給水の入口を逆に接続する場合はご注文時にその旨申し出下さい。又、納入後、何らかの理由で接続を逆にする場合は、メーカーにご連絡下さい。

- 3) 適温水補給ユニットを取り付ける場所は壁面に対し垂直に取付けて下さい

- 4) ミキシングバルブの取り付けブラケットを壁面に固定し、配管に支持を行ってください。

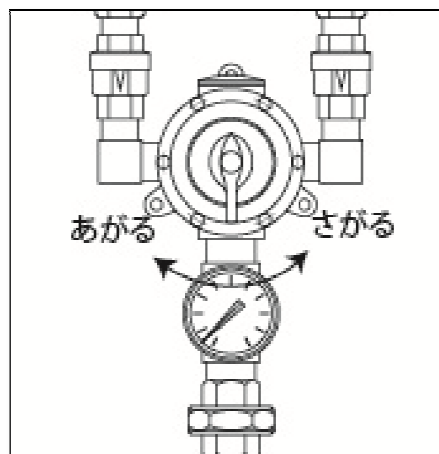
- 5) 適温水補給ユニットと供給配管を無理に接続すると漏れの原因になります。ユニットに無理のかからないようにして下さい。

- 6) 据え付けが完了しましたらストレーナーのプラグを外し、フラッシングして下さい。



⑤ 操作

- 1) 給湯・給水の元バルブが「開」になっていることを確認して下さい。
電動弁を「開」にして下さい。
給湯・給水がミキシングバルブに流入し混合が始まり、温水が吐出します。
- 2) 温度計を見ながらミキシングバルブの中央の温調ノブで必要な温度に設定して下さい。
温調ノブは、時計方向に動かすと温度が上がり反時計方向に回すと温度が下がります。



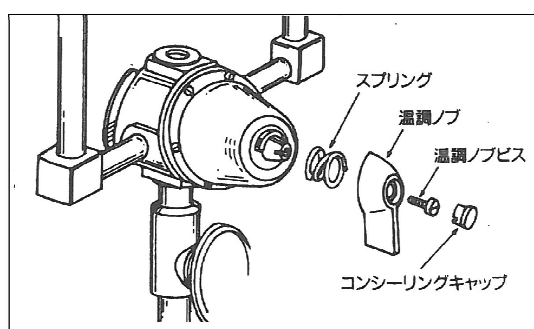
⑥ 最高温度設定

適温水補給ユニットは、工場出荷時に最高温度が約45℃にセットされています。もっと高い温度を必要とされている場合は、次の要領で設定をやり直して下さい。

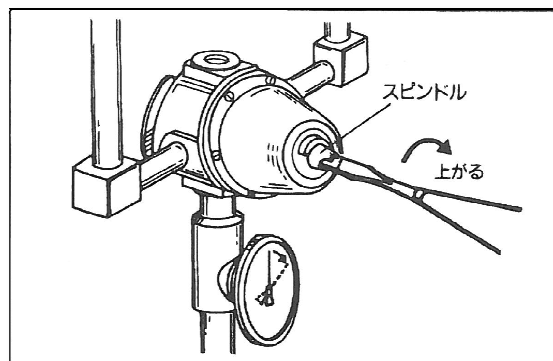
尚、作業は、温水を出しながら行って下さい。

最高温度が約45℃より大幅に高かったり低かったりする場合は、供給条件が使用範囲に入っていない場合がありますので再確認して下さい。

- 1) コンシーリングキャップ、温調ノブビスをゆるめ、温調ノブ並びにスプリングを外して下さい。

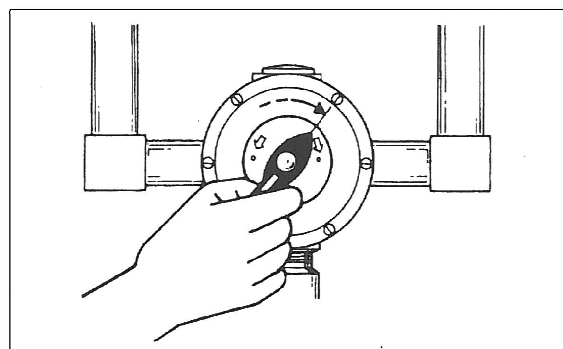


- 2) 見えてきたスピンドルの先端にドライバーをはめ込み、温度計を見ながら少しずつ時計方向に回して下さい。温水温度が上昇して行きます。



- 3) 希望する温度になれば、元のように組み立てて下さい。

設定した温度以上の温度にならないよう「最高温度設定」する場合は、カバーの突起にノブ裏側のでっぱりに当たりそれ以上時計方向に回らない位置でノブをセットして下さい。



⑦ メンテナンス

適温水補給ユニットは経年によって機能が劣化します。機能劣化が認められたら放置せずにメンテナンスをして下さい。

使用頻度、使用温度、使用圧力、水質等によってメンテナンスの頻度は変わりますが、パーツ交換で簡単に新品の機能を回復することが出来ます。

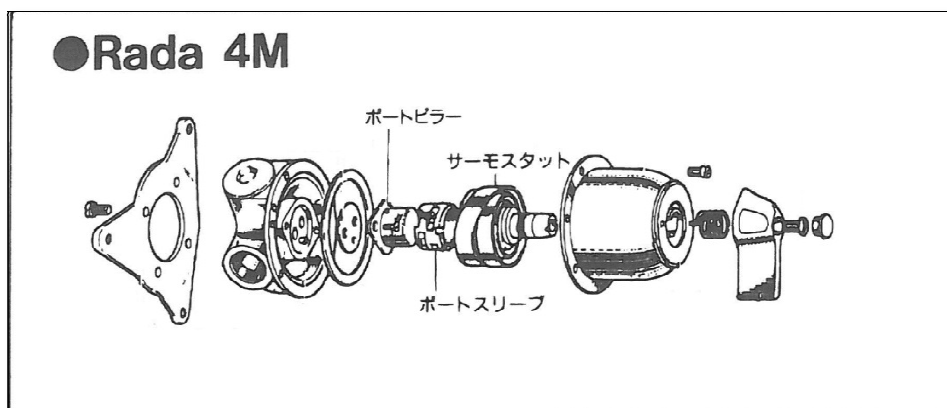
ユニットを設置した後も次の点に注意して下さい。

- 1、温調ノブ/ハンドル部から漏れはないか。
- 2、温水の流量が少なくなって来ていないか。
- 3、温水温度は不安定になっていないか。
- 4、温度調整が出来なくなっていないか。

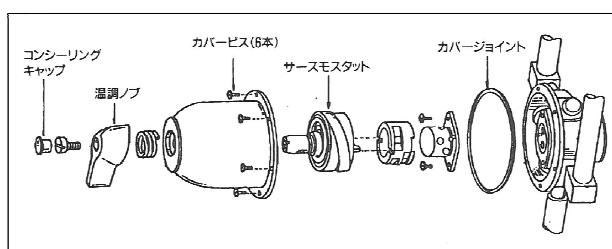
● ⑦-1 ミキシングバルブ

ミキシングバルブは、ポートスリーブ、ポートピラー並びにサーモスタットアッセンブリー（3点セット）を取り替えることによって、新品の機能を回復する事が出来ます。

温泉対応用 RADA 4MS

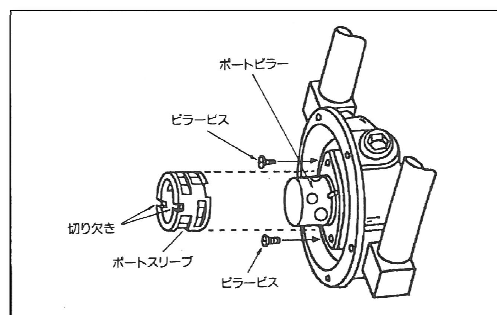


- 1) コンシーリングキャップ、温調ノブを外し、カバービス6本をゆるめ、カバー部をミキシングバルブボディーから外して下さい。

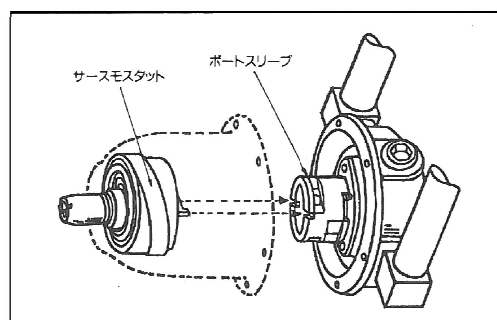


- 2) サーマスタット・アッセンブリーがカバーと一緒に外れますので、プラスチックハンマー等で軽くスピンドル部をたたいてサーモスタットをカバーから抜き取り新しい物と交換して下さい。その際、カバージョイントを新しい物と取り替えて下さい。

- 3) ポートスリーブを外し、ポートピラーを2本のピラービスをゆるめて外して下さい。その際、ピラージョイントを新しい物と取り替えて下さい。新しいポートピラーを2本のピラービスでボディーに取り付けて下さい。その際、ビスが片締めにならない様に均等に締めて下さい。



- 4) 新しいポートスリーブをポートピラーにはめて下さい。この時、ポートスリーブの切り欠き部分が長い方をボディー側に、切り欠きが2か所ある方をカバー側にして下さい。



- 5) カバーを取り付ける時は、サーモスタット・アッセンブリーの2か所のツメがポートスリーブの2か所の切り欠きにはまる様に組み立てて下さい。

- 13) 温水を流しながら必要温度が得られるよう「最高温度設定方法」の要領で温度設定を行って下さい。

適温水補給ユニット温泉対応型 LSW-3-CV用

取付け並びに取扱い説明書

●取付け前に必ずこの説明書をお読み下さい。

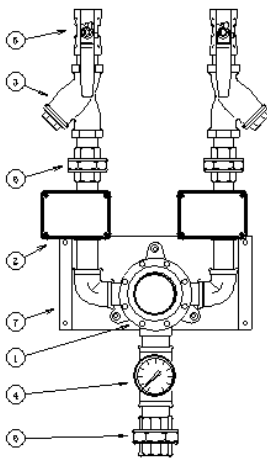
① はじめに

適温補給水ユニットとは、湯と水を混合して電動弁の開閉で浴槽へ適温水を補給するユニットです。
安全に永くご使用いただく為にこの取扱い説明書を読んで正しくご使用ください。

③ 仕様

- 最高使用圧力・・・0.4MPa
- 最低使用圧力・・・0.02MPa
- 最大差圧比・・・3:1
(給湯、給水どちらが3でも可)

② 各部名称



⑦	取付けブラケット(オプション)
⑥	ユニオン
⑤	ボール弁
④	温度計
③	ストレーナー
②	電動二方弁
①	ミキシングバルブ RADA A5SP
符号	名称

⚠ 注意事項

- ユニットからの混合水は、極力抵抗を少なくして浴槽に吐出してください。
配管は細くしないでください。
- シャワーやカンの元制御としてのご使用は出来ません。また、複数の電動弁を付けた分岐、及び手動弁を付けないでください。
- ステンレスが腐食されるような温泉水及びスケールが激しくたい積する泉質にはご使用できません。
※少量のたい積でも定期的なメンテナンスは不可欠です。
- 水道水本管と直結して使用することはできません。

④ 取付け

- 1) 調整や点検が容易にできる位置に取付け下さい。

経年時や破損等による漏水発生に備えて、漏水事故で損害発生が予測される場所への設置はお避け下さい。

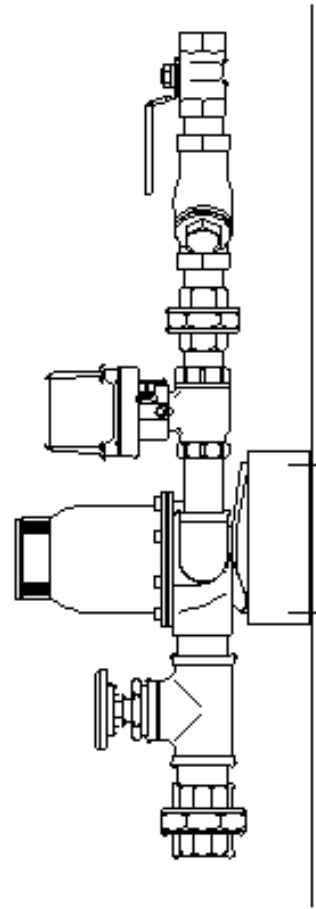
- 2) 給湯入口と冷水入口を確認して下さい。標準は向かって左が給湯、右が給水です。給湯・給水の入口を逆に接続する場合はご注文時にその旨申し出下さい。又、納入後、何らかの理由で接続を逆にする場合は、メーカーにご連絡下さい。

- 3) 適温水補給ユニットを取り付ける場所は壁面に対し垂直に取付けて下さい

- 4) ミキシングバルブの取り付けブラケットを壁面に固定し、配管に支持を行ってください。

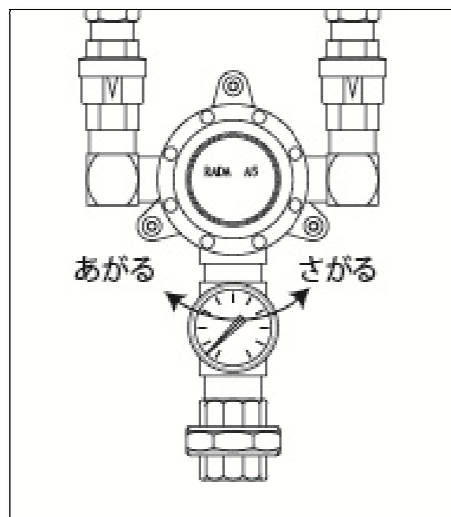
- 5) 適温水補給ユニットと供給配管を無理に接続すると漏れの原因になります。ユニットに無理のかからないようにして下さい。

- 6) 据え付けが完了しましたらストレーナーのプラグを外し、フラッシングして下さい。



⑤ 操作

- 1) 給湯・給水の元バルブが「開」になっていることを確認して下さい。
電動弁を「開」にして下さい。
給湯・給水がミキシングバルブに流入し混合が始まり、温水が吐出します。
- 2) 温度計を見ながらミキシングバルブの中央の温調ノブで必要な温度に設定して下さい。
温調ノブは、時計方向に動かすと温度が上がり反時計方向に回すと温度が下がります。



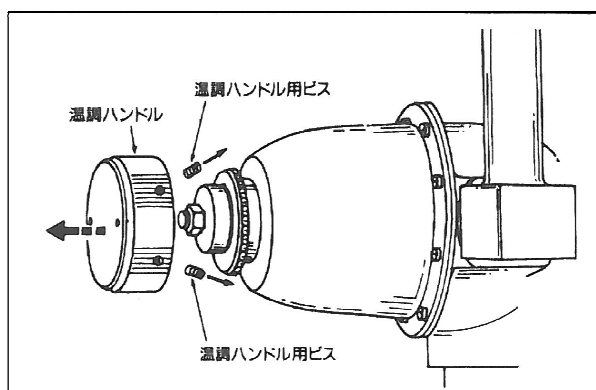
⑥ 最高温度設定

適温水補給ユニットは、工場出荷時に最高温度が約45℃にセットされています。もっと高い温度を必要とされている場合は、次の要領で設定をやり直して下さい。

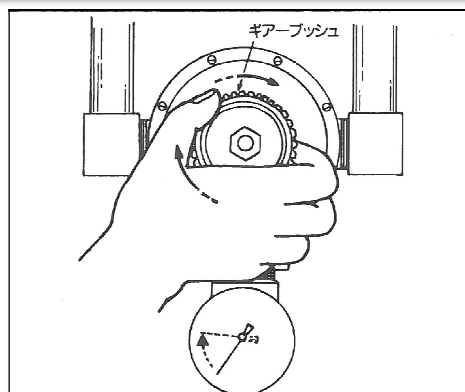
尚、作業は、温水を出しながら行って下さい。

最高温度が約45℃より大幅に高かったり低かったりする場合は、供給条件が使用範囲に入っていない場合がありますので再確認して下さい。

- 1) 2本の温調ハンドル用ビスをゆるめ、
温調ハンドルを手前に引き抜いて下さい。

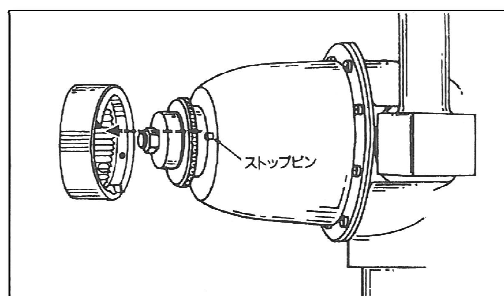


- 2) 見えてきたギアブッシュを手で少しずつ時計方向に回して下さい。温水温度が上昇して行きます。



- 3) 希望する温度になれば元のように組み立てて下さい。

「最高温度の設定」は温調ハンドル裏側の凹み部分がカバーのストップピンに当たり、それ以上時計方向に回らない位置で温調ハンドルをセットして下さい。



⑦ メンテナンス

適温水補給ユニットは経年によって機能が劣化します。機能劣化が認められたら放置せずにメンテナンスをして下さい。

使用頻度、使用温度、使用圧力、水質等によってメンテナンスの頻度は変わりますが、パーツ交換で簡単に新品の機能を回復することが出来ます。

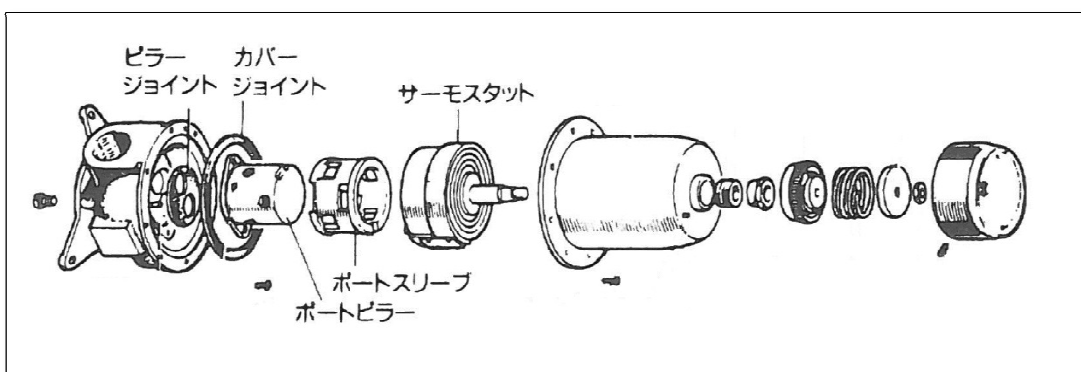
ユニットを設置した後も次の点に注意して下さい。

- 1、温調ノブ/ハンドル部から漏れはないか。
- 2、温水の流量が少なくなって来ていないか。
- 3、温水温度は不安定になっていないか。
- 4、温度調整が出来なくなっていないか。

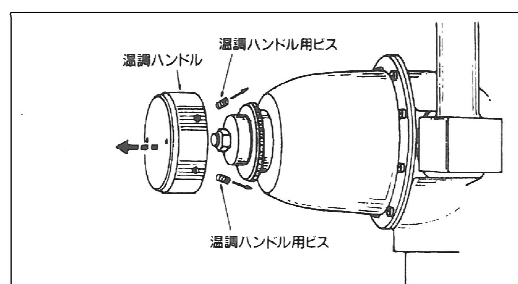
● ⑦-1 ミキシングバルブ

ミキシングバルブは、ポートピラー、ポートスリーブ並びにサーモスタットアッセンブリー（3点セット）を取り替えることによって、新品の機能を回復する事が出来ます。

温泉対応用 RADA A5S



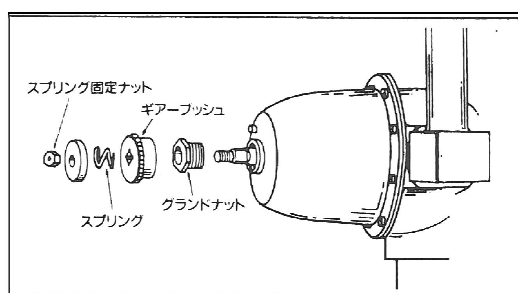
- 1) 温調ハンドル用ビス (2本) をゆるめ、
温調ハンドルを手前に引き抜いて下さい。



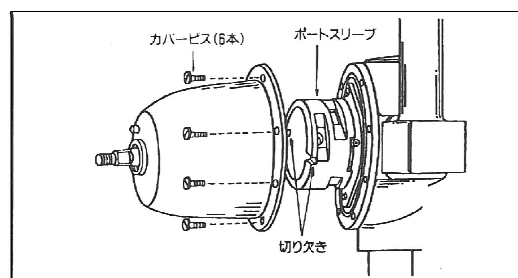
- 2) 見えてきたスプリング固定ナットをスパナで外して下さい。

- 3) ギヤーブッシュを手前に引き抜いて下さい。

- 4) グランドナットをスパナで外して下さい。



- 5) カバービス6本を外し、カバー部をボディから外して下さい。



- 6) サーモスタット・アセンブリーがカバーと一緒に外れますので、プラスチックハンマー等で軽くスピンドル部をたたいてサーモスタットをカバーから抜き、新しい物と交換して下さい。
この際、カバージョイントとクランドパッキンを新しい物と取り替えて下さい。

